



セミナーの様子



横田会長(左)、金澤専務理事

岡山代協がセミナーを開催 今後の代理店のあり方に 大きな示唆与える

岡山県損害保険代理業協会(横田好雄会長)で、は9月29日、日本代協の金澤亨専務理事を講師に招き、「損保業界の最新動向と今後の保険代理店のあり方」をテーマに特

倉敷北、倉敷南、津山の各支部が運営に協力するという形での開催となった。

今回のセミナーのテーマがプロ代理店としての今後の進む方

向に大きな示唆を与える内容であっただけに、告知早々から会員の関心は高く、会場となった岡山国際交流センターには多くの会員が集まり、スムーズの参加も含めると90名を超える参加者となる盛況ぶりであった。

今回の講師を務めた金澤氏は東京海上日動火災の支店長、関連会社の社長を経て、2021年に日本代協に出向、2022年からは専務理事を務めており、昨今の損保業界の不祥事案について金融庁との折衝、対応を

担ってきた。講演の中では一連の不祥事判明後の代協の対応について、金融庁との具体的なやり取りを含め、公式にはなかなか表に出てきていない話も含めて、披露した。

また、不祥事後の損保業界の動き、そのなかにおいてそれぞれの代理店が変化の波をつかみとり、どう成長していくべきかを分かりやすく解説した。

「代理店は未来に残る仕事である、そのために顧客本位の業務運営を

貫くことが重要である。

最近では保険会社との関係も以前のように濃厚なものではなく、最新の業界の情勢についてリアルに知ること難しくなりつつあるなか、代協を通じての貴重な情報提供の場となった感のあるセミナーとなり、代協の存在意義を再確認する絶好の機会となった。

.....